

みちしるべ NO. 14

学校教育目標「自分から行動できる子・すすんで学ぶ子・たすけ合う子・きたえる子」



学びあい 支えあい 高めあい 笑顔あふれる学校
優しさと厳しさと温かさで
子どもを鍛え、育む地域の学校を目指して



研究発表会 ～学びあいで権小は学力を向上させる～ 校長 川島 正晴

11月5日(金)に、幸手市教育委員会委嘱の学力向上と体力向上の研究発表会が行われました。権小は学力向上の発表で、全学年が授業公開をおこない指導をいただき、5時間目だけ、市内教員に6年生の授業を公開しました。11月1日からの「彩の国教育週間」でもありました。

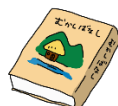


スマイル学級は、合同の「友達と協力しておもちゃを作ろう」です。1年生は手作りのサイコロ、2年生はタブレットでゲームを、それぞれ自分の特技で創り出しました。

1年生は、算数の「 $13-9$ の計算の仕方を考えよう」です。 $12-3$ とちがい、たくさん引くための上手な方法を考え合いました。ブロックを使って考え、計算の方法を見つけ合いました。

2年生は、生活科「作って遊ぼう 動くおもちゃ」です。材料をいろいろ触って「世界に一つだけの自分の動くおもちゃを作るには、どれが使いそうかな」と考え合いました。

3年生は、国語の「すがたをかえる大豆 説明の工夫を見つけよう」です。文章を何度も音読して、つながりをしっかりとらえ、大切な言葉や文章を探し合いました。



4年生は、「キャッチバレーボールで、相手が取りにくい攻め方を考えよう」です。大きくて柔らかいボールをサーブすると、一度キャッチして、どこにスパイクを打てばいいのかを考え合い、ゲームを進めていました。

5年生は、音楽で「日本の音楽の美しさを味わおう」です。「待ちぼうけ」をタブレットで一人一人が好きなだけ繰り返し聞き、友達とペアで響きの違いを比べ合っていました。

そして、6年生。「1Lの紙パックには、本当に1L入っているのだろうか。」を考え合いました。授業の前半で、これまでの学習を振り返り「底面積×高さ」で体積を求めることを確認し、「箱を倒した時に少しこぼれたが、底から液面までの高さを教えて」という課題に取り組みました。どの子も、自分の考えを出し合い、授業の終わりまで考え合っていました。

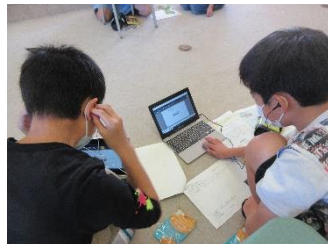


教育委員会の指導主事様から、「一人一人が教材と向き合い、自分で考え、友だちと学びあいながら、質の高い学びを子どもたちが身に付けている」と御指導いただきました。

権小の子どもたちは、学びあい、支えあい、助けあい、高めあって学びを遂行しています。これは、「できる子ができない子を教える」のとは違います。むしろどの子も周りの子に支えられて学んでいる場面を多く見かけます。

たとえば、「ここ、どうやったの?」と聞くと、「そこがわからないんだよね。」と一緒に考えている姿を見かけます。「隣がずっとやっているから自分も繰り返してみよう。」と学習し続ける姿も見かけます。「こうじゃない?」「いや、こっちかも。」と意見をぶつけ合うこともあります。

お互いが同じ立場で支え、支えられて学んでいるのが特徴です。



令和元年度から3年間の学力向上の研究を通して、6年生の学力調査結果は、国語も算数も、幸手市の平均や全国の平均を上回るものとなりました。子どもたちの頑張りと、保護者の協力、地域の方々の支えがあってこそ、学力が伸びたのだと確信しています。

小学生の学力は、漢字や計算を繰り返し覚えるだけのものではなく、多くの人と交流し、豊かな体験を重ね、安定した心と体を育ててこそ、伸びていくものなのです。そこが権小の「強み」だと強く感じます。家庭・地域の支えがあってこそ、子どもは伸びる。厚く御礼申し上げます。

発表会は終わりましたが、学びが終わったわけではありません。今後もより豊かで質の高い学びのできる学校・教室を目指して、職員一同、努力を重ねてまいります。

埼玉県・幸手市いじめ防止強化期間・幸手市小・中学校道徳週間

毎年、11月1日～11月19日を、幸手市では道徳教育強化期間として位置付けています。本校でも、保護者の学習参加や授業での道徳科の重点的な取組、いじめ撲滅の標語や作文づくり等を行っています。

11月15日は、「いじめゼロ集会」があり、12月の人権集会(12月4日は世界人権デー)まで継続して重点的な取組を行っています。

意地悪・乱暴な行動、言葉を減らし、なくしていけるよう、家庭や地域の皆様にもご支援いただき、地域全体・地域ぐるみの「いじめ撲滅」「人権擁護」を進めていただきますようお願いいたします。児童の健全育成は、地域ぐるみで。今後ご理解と御協力をお願いします。

